

# 地域貢献や教育・研究の新たな拠点、 AHSMEC(アースメック)が開設



## ■ AHSMEC(アースメック)概要

健康や医療の分野から「違いを共に生きる」社会をめざして

2013年4月、健康や医療の分野における地域貢献、教育・研究の拠点となる新たなセンター、「愛知淑徳大学 健康・医療・教育センター AHSMEC(アースメック)」を開設しました。4つの専門機関を連携させながら、地域の皆さまのすこやかな暮らしに役立よう、さまざまな取り組みを進め、大学の理念「違いを共に生きる」を地域医療や予防医療などの側面から実現していきます。

### 愛知淑徳大学 心理臨床相談室

さまざまな人の心の悩みに、臨床心理学の専門家が相談に応じます。

### 愛知淑徳大学 クリニック

診療とリハビリテーションを近づけ、質の高い医療を提供します。

健康・医療の多様なニーズに、総合力で応えます。

### つなぐ

AHSMEC(アースメック)の各専門機関を連携させて医師や専門スタッフ、教員が密なリレーションを図ります。健康や医療の幅広い分野にアプローチし、よりよい解決・治療に結びつけます。

健康づくりに役立つ情報の「発信拠点」をめざします。

### 伝える

健康や医療に関する情報を積極的に発信し、愛知淑徳大学クリニックや愛知淑徳大学心理臨床相談室の専門性、大学院 心理医療科学研究科の教育・研究の成果を地域へ還元します。

地域貢献の志を、未来へと手渡していきます。

### 育てる

現場意識の高い教育・研究に努め、社会人が専門性や実践力を磨くための「リカレント教育」も推進。あらゆる人の向学心に応え、地域の皆さまの健康を支える人材をより多く育成します。

### 愛知淑徳大学 健康相談室

地域の皆さまのためのイベント企画、情報発信を推進します。

### 愛知淑徳大学大学院 心理医療科学研究科

「生涯健康社会の実現」を見据え、地域貢献、専門教育・研究に努めます。

## 学長のメッセージ



愛知淑徳大学 学長  
**島田 修三**

「地域と共に」  
輝く明日をめざす、  
新たな一歩を踏み出します。

### 地域貢献への 決意を新たに

4月20日に開催した「AHSMEC  
（アースメック開設記念講演会）」には、  
300人近くの地域の方々にご来  
場いただき、皆さまの本学に対する  
ご期待に感謝するとともに、健康や  
医療の分野における地域貢献の必  
要性を改めて実感しました。これか  
らAHSMEC（アースメック）を、「生涯  
健康」に対して特に高い関心を寄せ

ていらっしゃる高齢の方々はおも  
ろん、子育て世代のご家族など、地  
域のさまざまな方の健康を支えて  
いく拠点にしたいと、決意を新たに  
しています。他に類を見ないセン  
ターであるからこそ、地域の皆さま  
と真摯に向き合い、ニーズを受けと  
めていきたいと考えています。

### ニーズに応え、 可能性を広げていく

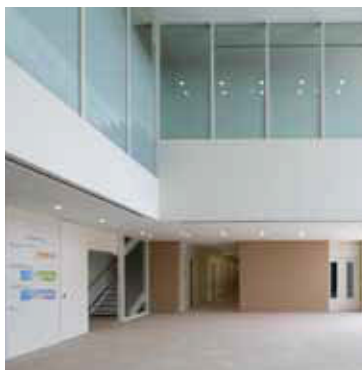
今年、愛知淑徳大学クリニックは  
8年目、愛知淑徳  
大学心理臨床相談  
室は18年目を迎  
えます。こうした長い  
時間をかけて、地域  
の皆さまにご利用  
いただける施設と  
して発展してきま  
した。AHSMEC  
（アースメック）につい

ても、愛知淑徳大学健康相談室を  
窓口としながら各専門機関が対話  
を進め、一つひとつのニーズにどう  
応えることができるのか、学部や各  
教育センター、さらには地域の機関  
とどう連携していくことができる  
のか、果たすべき役割の可能性を広  
げていきます。

また、言語聴覚士、視能訓練士、  
臨床心理士、保健体育教員、健康や  
運動の指導者などをめざす学生た  
ちの実践的教育の場としてもAHSMEC  
（アースメック）を活用し、大学の  
教育・研究の充実を図りたいと考え  
ています。そして、その成果を地域へ  
還元し、皆さまの笑顔あふれる毎日  
に貢献していきます。

### 地域の皆さまと共に、 歩みを進めたい

地域と共に——そのゆるぎない  
思いが、AHSMEC（アースメック）の最  
も大切な指針です。開設1年目と  
なる今年は、定例医療講演会など  
新たな試みをスタートさせる「種ま  
き」のとき。地域の皆さまの幸せが  
より大きく花開くよう、できること  
から着実に取り組み、確かな一歩を  
積み重ねていきます。



愛知淑徳大学クリニック

「療育」に力を注ぎ、地域の他機関とも連携



教授 稲福 繁  
 愛知淑徳大学  
 健康医療科学部 教授  
 愛知淑徳大学クリニック 院長

地域の皆さまが健康的に暮らせるよう、大学の社会的役割を医療分野で果たしていくことが、愛知淑徳大学クリニックの使命です。AHSMEC(アースメック)の開設を機に、地域にとってより身近な場所にな

ればと願っています。大学の連携機関という観点から見ると、臨床現場が近くにある学習環境は、医療を志す学生たちの向学心や向上心を大いに刺激するでしょう。人は誰もが目標の実現に向かって進む力強さを持っています。愛知淑徳大学クリニックの発展を、優秀な人材を社会へ送り出すことにも結びつけていきたいと思ひます。

2006年に開設した愛知淑徳大学クリニックは、耳鼻咽喉科、眼科、心療内科・精神科、内科・糖尿病内科で構成され、「生活の質の向上」に貢献できる医療機関をめざしてきました。医学的診療とリハビリテーションを近づけ、子どもの発達支援、成人や高齢者の方の診療・訓練などに尽力しています。これまでの実績に基づき、今後、さらに充実させていくのが、言語聴覚士による「療育」の分野です。発達障がいの子どもたち、特に就学した子どもたちの言語訓練を支援できる専門機関がこ



待合

の地域には少ないため、ニーズに応え得るサポート体制や施設を整えていきます。地域の他機関との連携もより強固なものにし、地域医療へのさらなる貢献を進めていきます。

愛知淑徳大学クリニックの取り組み

地域貢献と教育・研究を両立し、人の心を支える

心身の健康や福祉の専門性と学際性を養う



プレイルーム

1995年に開設された愛知淑徳大学心理臨床相談室は、心理相談・心理的ケアをおこなう、学外の方たちを対象とする有料相談機関です。臨床心理士をめぐらず大学院生の研修機関としての役割も担い、心理面接は主に大学院生や修了生が教員の指導のもとに担当します。「地域貢献」と「教育・研究」のバランスを大切にして「実践力のある臨床心理士」の養成、心理療法の質の向上に努め、子どもから、成人、高齢者の方まで地域のさまざまな方たちの心を支えていきます。

愛知淑徳大学  
 心理臨床相談室

愛知淑徳大学心理臨床相談室  
 愛知淑徳大学大学院 心理医療科学研究科

の取り組み



ラウンジ

心理学領域、社会福祉学領域、言語聴覚学領域、視覚科学領域、健康科学領域、臨床心理学領域の多岐にわたる教育・研究をおこないます。多様化する社会問題を捉え、複雑化する社会のニーズに対応できる専門性と学際性を備えた人材の養成をめざし、教員が連携し合って大学院生の指導に取り組みます。さらに、AHSMEC(アースメック)棟には大学院生が集うラウンジがあり、専門領域をこえて語り合い、互いに切磋琢磨しながら知識の幅を広げることができます。

愛知淑徳大学大学院  
 心理医療科学研究科



愛知淑徳大学健康相談室

大学の知的財産を、地域社会へ還元していく



教授 井口 昭久  
愛知淑徳大学  
健康医療科学部 教授  
愛知淑徳大学健康相談室 室長  
愛知淑徳大学クリニック  
糖尿病内科 医師

教育・研究で積み重ねた知的財産を、地域社会へ還元していく。それは、大学に課せられた責務のひとつです。愛知淑徳大学健康相談室では、大学の「知」を地域の皆さま一人ひとりの健康に還元できるように、直接、顔を

合わせて情報や知識をお伝えする講演会を大切にしています。こうした「還元」の過程は、学生たちにとっては実践的な学びの場となるでしょう。今後、学生たちがAHSMEC(アースメック)の取り組みに積極的に参加し、「生涯にわたって自発的に勉学に励む態度」を身につけていくことを期待しています。

健康づくりや病気の予防などに関する「地域貢献の窓口」「情報発信の場」として、地域の皆さまの健康増進・健康維持に寄与することをめざしています。具体的には、本学の教員をはじめとする専門家が講師を務める「定例医療講演会」を毎月2回ほど開催し、今後、運動講座なども企画する予定です。地域の方々との交流を深めながら多様なニーズを受けとめ、AHSMEC(アースメック)の新たな取り組みにつなげていきます。また将来的には、学生たちがボランティアとして講演会や講座などの運営



生活指導室

に携わり、地域の方々とは学び合える体制も整えます。愛知淑徳大学健康相談室が、地域社会と本学をつなぐ架け橋となり、教育・研究の成果を「生涯健康社会」の実現に役立てていきます。

愛知淑徳大学健康相談室の取り組み

定例医療講演会

参加無料

事前申込み制(先着順)

会場 愛知淑徳大学AHSMEC(アースメック)棟 1階 健康相談室

地域の皆さまを対象とした「定例医療講演会」を5月から開催しています。健康づくりや病気の予防に役立つさまざまな情報を、わかりやすくお伝えしていきます。参加者の募集状況、申込方法については、愛知淑徳大学健康相談室までお問い合わせください。

2013年度前期 講演予定

	講演日・時間	所属・氏名	講演テーマ	申込締切(必着)
第1回	5/24(金) 14:00~15:30	健康医療科学部 稲福 繁	めまいについて	5/17(金)
第2回	5/31(金) 10:30~12:00	クリニック 伊佐敷 靖	子どもの目の病気	5/24(金)
第3回	6/10(月) 10:00~11:30	名古屋大学医学部 老年科 ※野々垣 禪	糖尿病について	6/3(月)
第4回	6/28(金) 14:00~15:30	健康医療科学部 榎 裕美	高血圧と生活習慣 ~高血圧を防ぐ食事~	6/21(金)
第5回	7/9(火) 10:00~11:30	健康医療科学部 安藤 富士子	糖尿病の食事療法 ~実践編~ うまくいくわけ、いかないわけ	7/2(火)
第6回	7/23(火) 10:30~12:00	健康医療科学部 諏訪 真美	現代社会と心の病 -うつ病-	7/16(火)
第7回	8/22(木) 14:00~15:30	心理学部 古井 景	子どもの成長を考える-母親の役割、父親の役割、学校の役割、地域の役割-	8/9(金)
第8回	9/12(木) 10:30~12:00	心理学部 後藤 秀爾	思春期の心 -子どもの社会参加不安を考える-	9/5(木)
第9回	9/27(金) 13:30~15:00	健康医療科学部 鈴木 朋子	脳卒中後のことばの障害とその回復のために	9/20(金)

※都合により講演者が変更になりました

●愛知淑徳大学健康相談室 0561-56-0077(平日10:00~18:00、8/12~8/17は夏季休業)

愛知淑徳大学心理臨床相談室  
大学院 心理医療科学研究科



教授 後藤 秀爾  
愛知淑徳大学 心理学部 教授  
愛知淑徳大学 心理臨床相談室 室長

愛知淑徳大学心理臨床相談室、大学院心理医療科学研究科ともに、AHSMEC(アースメック)開設後も従来通り、静かな情熱と誠意をもって「地域貢献」と「教育・研究」に取り組みたいと考えています。その中で大切にしたいのが、学内での専門領域をこえた人と人の連携、学外の福祉施設や医療機関、教育機関など地域との連携です。さまざまなことに柔軟に対応できる「ゆるやかな絆」で結ばれた人的なネットワークを学内に限らず地域へと広げることです。そうした環境づくりが、大学院生たちにも、相互理解や相互貢献を実践しながら自己研鑽する道を拓くこととなります。

## AHSMEC(アースメック) 棟 施設・フロア

地域の皆さまに快適にご利用いただける  
 さまざまな施設・設備を備え、  
 4つの専門機関の取り組みを推進していきます。



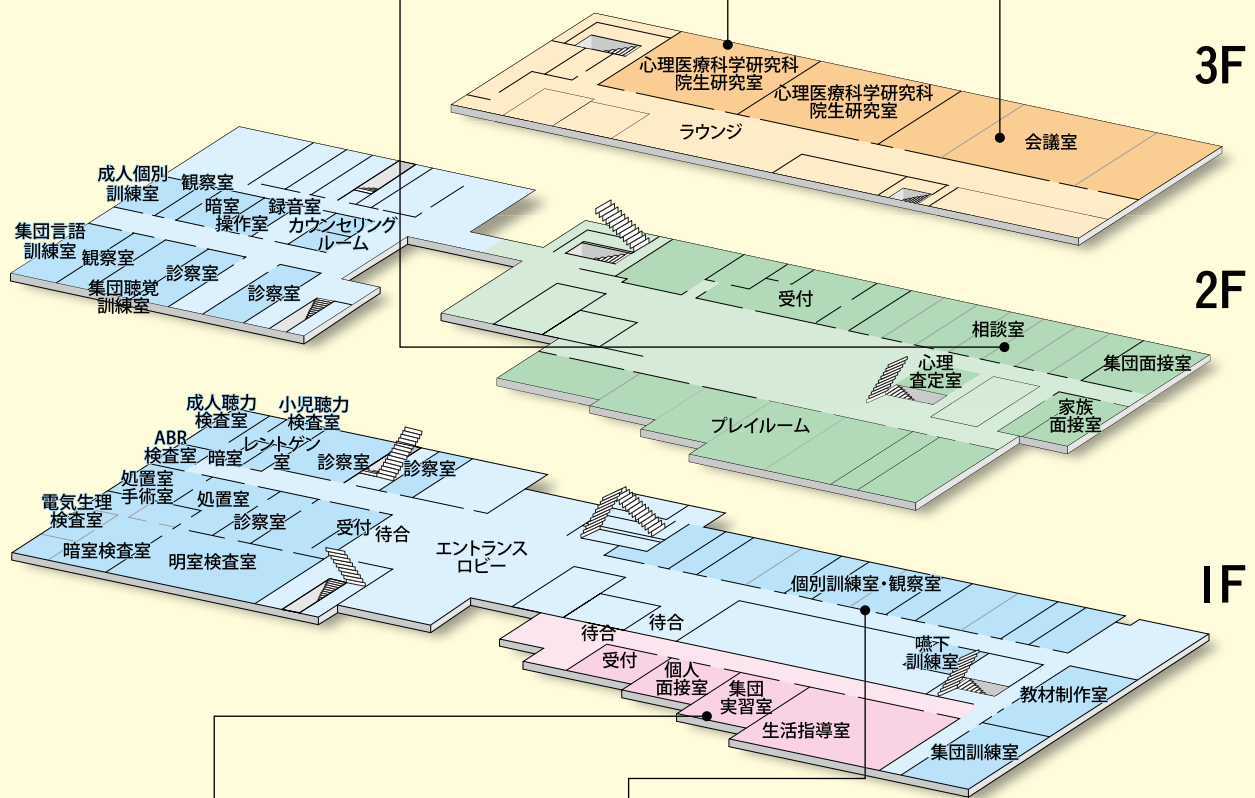
相談室



心理医療科学研究科 院生研究室



会議室



集団実習室



個別訓練室

- 愛知淑徳大学大学院  
心理医療科学研究科
- 愛知淑徳大学心理臨床相談室
- 愛知淑徳大学クリニック
- 愛知淑徳大学健康相談室